

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年6月5日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

医療・介護の大改悪 絶対やめて！

広がる 学習・宣伝、FAX要請行動

衆議院で強行採決された「医療介護総合推進法案」は、6月2日から参議院で審議入りしました（会期末は6月22日）。道内各地で、学習会、宣伝、議員へのFAX要請行動が広がっています。3日の厚生労働委員会では、小池晃委員の「2割負担になる方の根拠が間違っている」との指摘に対し、政府がまともに答えられず、委員会は紛糾しています。欠陥法案が廃止しかありません。さらに広げましょう！



病院からの追い出し 法案先取り診療報酬改悪 7対1看護：在宅復帰率75%↑



札幌市では、5月30日（金）と31日（土）の両日、繁華街で宣伝、署名行動を行いました。現場のケアマネジャーが、マイクを握り、「4月からの診療報酬改定では、法案に先駆けて病院から在宅へ追い出す内容が盛り込まれました。最も看護体制の厚い7対1看護を縮小するため、その条件を厳しくし、在宅復帰率（75%以上）も新設しました。今でも、治療が必要な患者さんが体制の薄い在宅へ誘導されています。必要な医療と介護が受けられる制度への充実こそ求められています」と廃案を訴えました。

道内でも在宅復帰率（75%以上）によって、道内でも、直接、在宅へ誘導されるケースが生まれはじめています。

北見、帯広、新婦人などで学習会後、国会議員へのFAX要請行動

各地、団体で法案の学習会が行われ、その後、国会議員へのFAX要請行動が広がっています。「私は言いたい」を紹介します。中央社保協の行動の際、議員事務所から「FAXが届いています」の反応あります。

北見（5月26日）

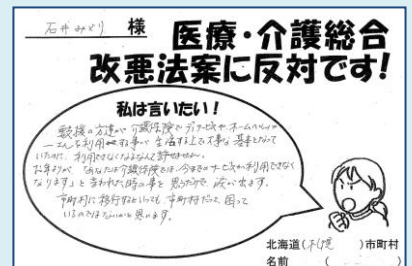
安心で暮らせる社会にとって、医療・介護は最も重要なことだと思います。自己責任を強調するのではなく国の責任で、充実させる制度を実現してください。

帯広（6月1日）

年金は下がる。物価は上がる！本当に暮らしていけない、という声が聞こえますか？ 国民の命を守るのが政治の役割です。医療・介護総合法案を絶対に廃案にしてください！

新婦人札幌北支部

お年寄りが「あなたは介護保険では、今までのサービスが利用できなくます」と言われた時の事を思っただけで、涙がでます。市町村に移行するといっても、市町村だって、困っていますのではないかと思います。



もうだまっていられない！

年金・生活保護の引き下げ、消費税増税、保険料値上げなど国民負担増

そのうえ、医療・介護の大改悪法案

国民いじめの政治に抗議する6.13集会・パレード



6月13日（金）12時～ 大通西3丁目で宣伝行動、その後すすきのまでパレード